

霜秋の古都『京都』にて開催！

第28回エラストマー討論会のご案内と研究発表募集

会 期：2017年11月29日(水)・30日(木)

会 場：京都大学・宇治キャンパス(京都府宇治市五ヶ庄)

協賛団体：日本化学会 高分子学会 日本材料学会 日本複合材料学会 繊維学会 日本接着学会 日本レオロジー学会
(予 定) マテリアルライフ学会 プラスチック成形加工学会 日本トライボロジー学会 (順不同)

エラストマー材料の合成、構造、物性から応用に至るまでいろいろなことが明らかになってきました。今こそ、エラストマー関連の科学者や技術者が一同に会して議論する時です。エラストマー討論会はその最高の場を提供します。ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに興味を持つ人、好きな人、利用したい人、売りたい人、考え方を聞いて欲しい人、聞きたい人、化学屋さん、物理屋さん、機械屋さん、電気屋さん、・・・あらゆる方々のご参集をお待ちしております。

研究発表は従来どおり口頭発表とポスター発表といたしますが、口頭発表には2015年年次大会以降の研究発表会と同じトピックテーマによる討論の場も設け、また今回から英語セッションを新設いたします。なお、口頭発表はこれまでと同様に若手発表の部(申込時35歳以下)を設け、若手発表とポスター発表には優秀発表賞を授与し、ミキサーの場で表彰いたします。

また、最も優れた研究発表に贈られるCERI最優秀発表論文賞も引き続き授与されます。

研究発表は、より有意義な討論を目指す目的で、以下の発表形式といたします。多数のご発表をお待ちしております。

1. 研究発表は口頭発表(若手・一般)とポスター発表(共通)の両形式で行います。発表言語は英語または日本語とします。なお、若手とポスターは初日に、一般は2日目に行います。また、若手とポスターは発表件数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。
(同じ発表内容を口頭/ポスターの両方で発表することも可能です)。

2. 発表内容はゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関するものであれば構いません。また、既発表のものを含んでも差し支えありませんが、十分に討論する価値のあることが必要です。

3. 発表テーマの選択について

今回の一般発表は、以下の2つの方法で行います。

1) 従来どおりの方法での発表

以下の①～⑳から適切なテーマをお選びください。

- ①合成・重合、②構造、③物性、④分析法・解析評価法、⑤新材料、⑥ナノテクノロジー、⑦シミュレーション、⑧熱可塑性エラストマー、⑨配合、⑩練り、⑪成形加工、⑫接着・粘着、⑬金型、⑭劣化・寿命・信頼性、⑮トライボロジー、⑯リサイクル・グリーンケミストリー、⑰衛生・アレルギー・ヘルスケア、⑱エネルギー関連、⑲その他、⑳新製品・新技術の紹介(ポスター発表のみ)
- ※⑳は表彰の対象とはなりません、企業名・商品名を用いても構いません。

2) トピックテーマでの発表

今回、上記の一般発表とは別に「天然ゴム」と「接着・接合の最前線」をトピックテーマとしたセッションを設け、特定のテーマに特化した討論を行います。このセッションでの発表を希望される際、申込時にその旨ご記入ください。

※この発表セッションは一般発表のみとなります。

若手発表ならびにポスター発表は対象となりません(若手発表は、上記「1)従来通りの方法」のテーマからお選びください)。

※「1)従来どおりの方法」でお申込みいただいた一般発表でも「2)トピックテーマ」発表に変更させていただくこと、およびその逆の変更がございますことをご了承ください。

3) 英語セッションでの発表

今回から「英語セッション」を新設いたします。

英語でご発表される方は、このセッションを選択ください。

4. 口頭発表は液晶プロジェクターを用いて行います。

パソコンは各自でご持参ください。

5. 口頭発表の時間は1件あたり20分(発表12分、討論7分、交代1分)の予定です。関連ある継続発表を希望する際は、その順序を①、②とご記入ください
(若手と一般を継続することはできません)。

6. 発表者は日本ゴム協会会員(正会員・学生会員)であることが必要です。

研究発表の申込み要領

2017年8月18日(金)までにHP (<http://www.srij.or.jp>) からお申し込みください。

発表申込み受理

1. 発表申込みの採否およびプログラム編成はエラストマー討論会運営委員会にご一任ください。
2. 申込みを受理されたものについては、予稿原稿の書き方を申込者あてにお送りいたします。

予稿原稿

1. 予稿原稿の枚数はA4判2枚です(英文アブストラクト(約150words)を含みます)。また、ポスター発表の予稿原稿はA4判1枚で英文アブストラクトは不要です。
2. 予稿原稿提出はメール添付PDFのみとします。
3. 予稿原稿締切 9月29日(金)事務局必着

ミキサー 第1日目の夕刻に、参加者の交流の場としてミキサーを開催いたします。活発な討論後の憩いの場となりますので、多数の参加をお待ちしております。

参加費：一般5,000円 学生2,000円

シルバー会員は無料(要申込み)

参加登録 HPの登録フォーム(9月掲載予定)からお申し込みください。早期登録の期限は10月27日(金)となりますのでお早めにお申し込みください。

登録費

正会員 7,000円(10/27まで) 10,500円(10/28以降)
シニア 3,500円(10/27まで) 5,250円(10/28以降)
学生会員 2,000円(10/27まで) 3,000円(10/28以降)
会員外 12,960円(10/27まで) 19,440円(10/28以降)
賛助会員は2名まで正会員扱いといたします。シニアは60歳以上の正会員(シルバーを含む)で本人に限ります。

送金先

郵便振替「00190-1-48393」
みずほ銀行 虎ノ門支店 (普)No.1228682
口座名：一般社団法人日本ゴム協会
※送金手数料は参加者側でご負担ください。

連絡先

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26東部ビル
一般社団法人日本ゴム協会 エラストマー討論会係
TEL: 03-3401-2957 FAX: 03-3401-4143
E-mail: srij@srij.or.jp <http://www.srij.or.jp/>

第 28 回エラストマー討論会トピックテーマについて

第 28 回エラストマー討論会は、トピックテーマとして「天然ゴム」と「接着・接合の最前線」を設け、本テーマに関わる基礎から応用技術まで幅広く活発な議論が行われることを期待しています。本テーマの設定意図は以下のとおりです。会員各位の多数のご発表をお待ちしております。

1. 「天然ゴム」

工業用原料としての天然ゴムは、ゴム加工業の黎明期はもちろん、高度に構造制御された各種合成ゴムが開発、実用化されている現在においても、その優れた機械的特性などから、航空機・自動車用タイヤや防振ゴム、免震ゴムなどにおいては不可欠な素材であり、汎用ゴムとして幅広い用途で使用されています。本セッションでは、その特性の起源、生合成、改質による機能性向上、加工技術、バイオマスとしての継続利用性・代替材料、リサイクルなどから、製品技術まで、天然ゴムに関連する広い分野からのご発表を期待しております。多数のご聴講、ご討論をお願いいたします。

2. 「接着・接合の最前線」

近年、軽量化や製造プロセスの簡素化に対応するため、様々な新しい分野でゴムと異種材料の接着が求められています。しかしながらそれらのニーズに応えるためには、接着技術そのものを開発することに加え、評価技術の構築や接着メカニズムの解明によって、耐久性と信頼性を担保することも必要です。本セッションでは、エラストマーと異種材料の接着・接合を中心に、関連する分野からのご発表を期待しております。多数のご聴講、ご討論をお願いいたします。